

キリ早生樹から始まる 「エネルギーの森」システムの構築助成事業



地方から世界へ

本事業の目的は、栃木県芳賀地区エリア（主に益子町、茂木町）の耕作放棄地に対し、日本に古くから自生している早世樹の桐を植樹することで、短期間で土地の有効活用及び燃料生産と木材生産共生システムの構築を実現することを目的とする。

5年間の植林実績

本事業は、2020年7月から現在まで、48圃場、約12800本の植栽実績があり、今後も植栽面積を増やし、国産広葉樹の安定供給を可能にすべく植栽を計画している。



益子市前沢圃場

植樹実績

2020年	3,700本
2021年	2,500本
2022年	1,950本
2023年	850本
2024年	2,950本
2025年	800本



農薬散布用地上ドローン

作業の軽減、効率化

耕作放棄地は主に平坦であることが多く、ドローン等の新しい技術も率先して利用することにより、より効率化、簡易化させ、よりコストダウンできるように作業を実施している。



圃場の土壌成分管理

植栽を計画している圃場については、事前に土壌調査により、土壌の土質、成分等を確認。そのデータをもとに土壌改良、肥料等の施肥等を行い生育に適した状況を作り植栽をしている。



土壌調査状況

苗の確保

植栽に利用する苗に関しては、自社で育成している成長、形状の優良な桐から、実生、分根、挿し木、萌芽により安定供給できるように管理して生産している。

問い合わせ先

株式会社 環境公害分析センター

栃木県宇都宮市問屋町3172-85

TEL:028-601-8835 FAX:028-601-8836

e-mail: info@kankyoku-kougai.com

担当: 仁平、宮田